

戦没者遺族ら平和祈念

市追悼式に400人参列

戦没者らの霊を慰め、平和を祈念する川崎市戦没者追悼式が20日、市総合福祉センター（中原区）で行われ、遺族ら約400人が参列した。

全員で黙とうをささげた後、福田紀彦市長が「ご遺族は計り知れない困難を乗

り越えてこられた。恒久平和を切に願ひ続けたい」とあいさつ。市遺族連合会の安齊久男会長は「この平和が尊い犠牲によって築かれたことを後世に伝え、二度と戦争を起こさないようにしていく」と述べ、各区の遺族代表らが献花した。

中国で叔父を亡くした宮前区有馬の持田喜久代さん（81）は「叔父にはよく勉強や習字を教えてもらった。70年たっても忘れることはない」と涙を流した。

市地域福祉課によると、市内の戦没者と戦災死者は計8167人。



追悼式で献花する遺族ら(20日、川崎市総合福祉センターで)